

## 主題セッション2

### 「上部消化管疾患の病態生理」

司会 鈴木 秀和（東海大学医学部内科学系消化器内科学）

堀江 俊治（城西国際大学薬学部薬理学研究室）

上部消化管、つまり、食道・胃・十二指腸には、様々な疾患が発生する。酸関連疾患（胃食道逆流症、胃十二指腸潰瘍など）、好酸球性疾患（好酸球性食道炎、好酸球性胃炎）、感染症（*H. pylori* 感染症、Non-*H. pylori* Helicobacter (NHPH) 感染症、カンジダ症など）、機能性消化管障害（機能性胸焼け、機能性胸痛、機能性ディスペプシア、機能性嘔吐・嘔気、げっぷ障害など）、炎症性腸疾患（クローン病など）、悪性疾患（食道がん、胃がん、リンパ腫など）等々、症状からみると多くの鑑別疾患がある。酸、食事因子、胃内細菌、生理活性物質なども、その要因に密接に関連してくる。このセッションでは、上部消化管疾患の診断・治療を病態生理と関連させつつ議論していただきたい。